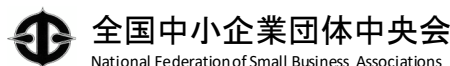


# 2月の中小企業月次景況調査

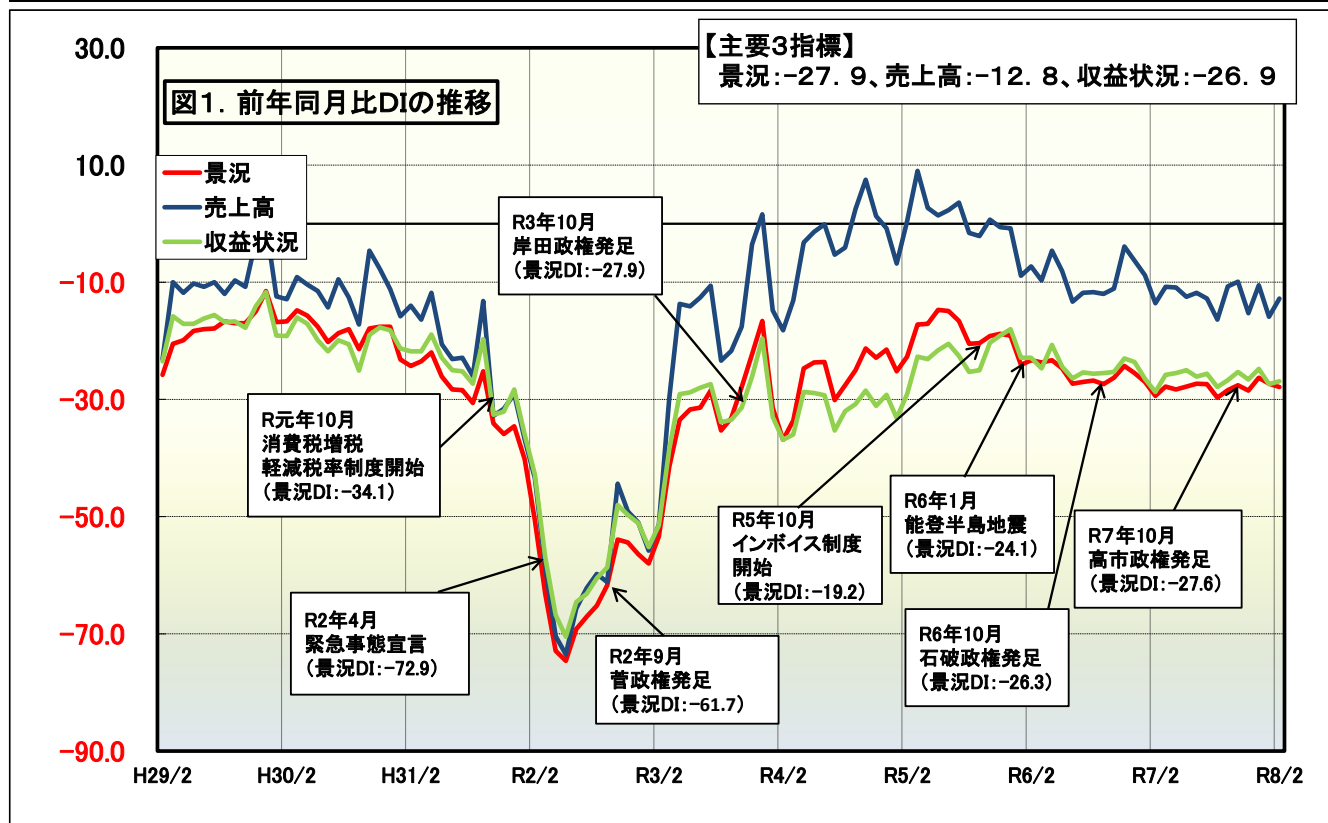
〔令和8年2月末現在〕



全国中小企業団体中央会  
National Federation of Small Business Associations

令和8年3月25日発表

- ◎2月の景況DIは、前月に引き続き製造業は小幅改善、非製造業は低下
- 製造業では、引き続き原材料価格の上昇、人件費の増加に加え、人手不足の影響が深刻化している状況にあるが、原材料価格の上昇に一服感が見られたこと、不十分ながら価格転嫁が行われたことによる売上収益への寄与により、景況感は12業種中9業種で改善となった。
  - 非製造業においては、引き続き物価上昇に伴う悪影響が懸念される状況であることに加え、人手不足の深刻化と中東情勢の緊迫化による燃料価格高騰等への懸念により、建設業・運輸業を中心に景況感は低下となった。
  - 製造業、非製造業ともに、中東情勢の緊迫化が長期化することによる、今後の経営への悪影響を懸念する声が数多く寄せられており、景況感は引き続き、一進一退の状況となっている。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合(協同組合、商工組合等)の役職員約2,500名に委嘱〕による調査結果です。  
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況(前年同月比)です。

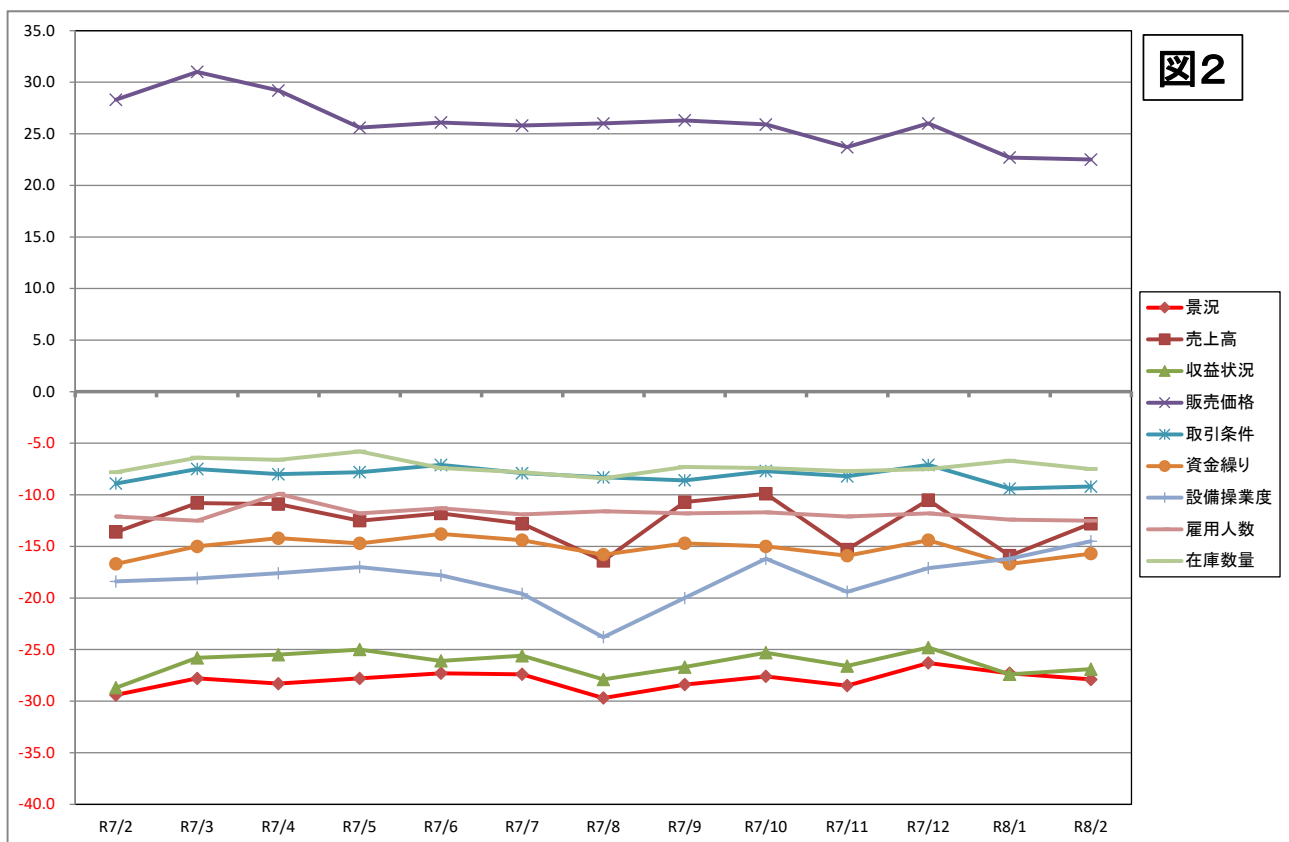
(本発表資料のお問い合わせ先)  
全国中小企業団体中央会  
担当：政策推進部  
TEL 03-3523-4902  
<https://www.chuokai.or.jp>

## 2月の調査結果のD I 概況

### 【指標D Iの動向とポイント】

1. 引き続き原材料価格の上昇、人件費の増加、人手不足の深刻化による経営への悪影響が懸念される状況にあるが、物価上昇に一服感が見られたことで消費回復への期待が高まっており、景況感は小幅低下となったものの、売上高と収益業状況については改善となった。
2. 主要3指標以外については概ね横ばいとなった。
3. 原材料、人件費等のコスト、物価上昇による経営への悪影響を懸念する声に加え、中東情勢緊迫化による悪影響を懸念する声が数多く寄せられている。

### 全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）



	R7	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8	前月比		
景況	2月	-29.4	-27.8	-28.3	-27.8	-27.3	-27.4	-29.7	-28.4	-27.6	-28.5	-26.3	-27.3	-27.9	-0.6
売上高	-13.6	-10.8	-10.9	-12.5	-11.8	-12.8	-16.4	-10.7	-9.9	-15.3	-10.5	-15.9	-12.8	3.1	
収益状況	-28.7	-25.8	-25.5	-25.0	-26.1	-25.6	-27.9	-26.7	-25.3	-26.6	-24.8	-27.4	-26.9	0.5	
販売価格	28.3	31.0	29.2	25.6	26.1	25.8	26.0	26.3	25.9	23.7	26.0	22.7	22.5	-0.2	
取引条件	-8.9	-7.5	-8.0	-7.8	-7.1	-7.9	-8.3	-8.6	-7.7	-8.2	-7.1	-9.4	-9.2	0.2	
資金繰り	-16.7	-15.0	-14.2	-14.7	-13.8	-14.4	-15.8	-14.7	-15.0	-15.9	-14.4	-16.7	-15.7	1.0	
設備操業度	-18.4	-18.1	-17.6	-17.0	-17.8	-19.6	-23.8	-20.0	-16.2	-19.4	-17.1	-16.2	-14.5	1.7	
雇用人員	-12.1	-12.5	-9.9	-11.8	-11.3	-11.9	-11.6	-11.8	-11.7	-12.1	-11.8	-12.4	-12.5	-0.1	
在庫数量	-7.8	-6.4	-6.6	-5.8	-7.4	-7.8	-8.4	-7.3	-7.4	-7.7	-7.5	-6.7	-7.5	-0.8	

## 【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 原材料価格・物価・人件費上昇に対して、価格転嫁に苦慮している声が、業種を問わず数多く寄せられた。
2. 中東情勢の緊迫化が長期化することによる経営への悪影響を懸念する声についても、業種を問わず非常に数多く寄せられた。

### 《主な報告内容》

#### ◇原材料価格・物価・人件費上昇に対する価格転嫁に関する事業者の声

- ・3月は価格交渉促進月間となるため、価格転嫁について尋ねたところ、一部転嫁できている（30～79%程度）の回答が多かった。価格転嫁が難しい理由については、競合他社との価格競争の激しさや、自社の交渉力・提案力不足を挙げる組合員が多い。（栃木/一般機器）
- ・これまで価格で折り合わず受注に至らないケースもあったが、足元では物件が動き始め、夏に向けて一部に明るい兆しも見られる。鋼材価格は低下傾向にあるものの副資材等の価格上昇によりコスト負担は依然として大きく、加工費の引き上げを図っているが、価格転嫁は十分ではない。（山梨/建設）
- ・食器業界は小幅ながらも価格転嫁を実施している。燃料・原料などの価格が高騰しており、価格転嫁を断行せざるを得ない状態であり小幅ながらも製品価格を上昇させている。（岐阜/窯業・土石製品）
- ・相変わらず原油高による流通コスト、金属系原材料や仕入れ価格の高騰分を販売価格に転嫁すると高額になるため失注することが多く、工事受注量は減少し厳しい経営状況が続いている。（滋賀/建設）
- ・適正価格への値戻しを各メーカーが表明しているが、厳しい需要状況および年度末を迎えてのメーカー間の競争もあり、値戻しは困難な状況である。また、原材料の国産原木は季節的要因もあり、高値が続いている。（島根/木材・木製品）
- ・運賃交渉については、荷主側の慎重姿勢が依然として強く、価格転嫁は進みにくい状況が続いた。燃料補助金による軽油価格の下落が続いたことで、荷主側には「燃料が下がっている以上、運賃改定の必要性は乏しい」との見方が広がり、標準的運賃を根拠とした交渉も頭打ちとなっている。こうした動きに対して、国土交通省、中小企業庁、公正取引委員会は、軽油の補助金引上げに伴う燃料価格下落時のトラック運送業の適正取引徹底について荷主関係団体、全日本トラック協会を通じ、荷主や元請け事業者に要請している。（島根/運輸）

#### ◇中東情勢緊迫化が長期化することによる経営への悪影響を懸念する事業者の声

- ・不安定な国際情勢による影響は今のところ見られていないが、原油価格の上昇による諸物価の高騰、及び円安・金利の上昇等による景気への影響が懸念される。（埼玉/一般機器）
- ・組合員から「半導体は持ち直し期待となった一方、中東情勢の影響を受け、今後の原材料価格、及び確保自体が懸念されるとともに、引き続き売価引き上げ交渉が課題」との情報が寄せられた。（神奈川/化学・ゴム）
- ・金・銀・銅等の需要が好調であり建設機械全般に増加傾向である。政府の経済活性化に向けた積極財政にも期待感がある反面、中東戦争影響による景気後退のリスクも有り、先行きは不透明である。（石川/鉄鋼・金属）
- ・中東情勢の推移が気になるが、今のところは材料価格への大きな影響は見られていない。長期化すれば影響は必至であるので県庁等行政からのタイムリーな情報提供を願っている。（福井/建設）
- ・中東情勢の緊迫により、物価高がさらにエスカレートして消費者マインドに多大な影響が出ないか危惧している。（岐阜/小売）
- ・物価高騰に加え、イランとアメリカとの紛争による原油高騰が懸念されている。これから、ガソリンやガスなどが高騰すると、産地としても非常に大きな問題となってくる。（三重/窯業・土石製品）
- ・米国とイランの軍事衝突により円安ドル高が継続している。地域のSSでは、仕入高の上昇への警戒感から早期の仕入に動き出しており、ローリー不足となっている。（和歌山/小売）
- ・中東情勢の悪化を受けて、軽油の暫定税率廃止前の価格、あるいはそれ以上に高騰する恐れもあり、先行き不透明な状況が続く。（和歌山/運輸）
- ・アメリカやイランを含む国際情勢の変化は、今後の展開に大きな影響を及ぼす可能性があり、先行きは不透明である。（愛媛/鉄鋼・金属）

※ 後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告（要旨）」等も参照。

# 1. 景況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 27.3	▲ 27.9	▲ 0.6	悪化	↘
製造業	▲ 31.8	▲ 30.3	1.5	上昇	↗
非製造業	▲ 23.6	▲ 26.0	▲ 2.4	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	印刷			
	5～10ポイント	その他の製造業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	輸送機器			
	5～10ポイント	建設業、運輸業			

表2. 業種別【景況】DIの推移（前年同月比）

業種名	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	8/1	8/2	前月比
全体	-29.4	-27.8	-28.3	-27.8	-27.3	-27.4	-29.7	-28.4	-27.6	-28.5	-26.3	-27.3	-27.9	-0.6
製造業	-35.0	-35.3	-36.1	-35.7	-33.9	-34.5	-36.6	-34.5	-34.1	-35.3	-32.6	-31.8	-30.3	1.5
食料品	-30.2	-25.6	-26.5	-33.4	-27.8	-24.4	-29.9	-26.4	-27.1	-29.7	-26.8	-31.8	-31.8	0.0
繊維工業	-40.9	-43.6	-44.1	-43.2	-38.2	-38.2	-47.7	-46.4	-45.0	-46.4	-41.6	-42.7	-41.6	1.1
木材・木製品	-46.1	-45.6	-34.8	-39.6	-47.3	-50.0	-47.4	-46.4	-45.6	-44.8	-41.8	-39.4	-39.2	0.2
紙・紙加工品	-37.5	-36.4	-29.2	-30.4	-16.7	-34.8	-41.7	-52.2	-45.9	-48.0	-54.5	-43.5	-40.9	2.6
印刷	-42.4	-50.8	-48.3	-45.8	-45.8	-50.9	-50.0	-37.3	-43.1	-41.4	-40.7	-46.6	-34.5	12.1
化学・ゴム	-22.2	-25.9	-29.6	-25.9	-22.2	-17.9	-16.6	-14.3	-17.8	-10.4	-17.8	-7.1	-10.7	-3.6
窯業・土石製品	-42.5	-37.6	-41.7	-35.5	-43.4	-37.1	-33.8	-35.0	-33.1	-35.8	-38.5	-38.1	-36.7	1.4
鉄鋼・金属	-36.1	-37.4	-45.0	-38.1	-29.4	-35.1	-37.7	-35.1	-38.1	-39.0	-32.6	-28.8	-25.2	3.6
一般機器	-28.9	-32.4	-38.1	-34.2	-31.8	-31.2	-36.2	-31.0	-28.5	-26.7	-24.8	-23.8	-20.0	3.8
電気機器	-14.3	-7.4	-17.8	-14.3	-10.7	-7.4	0.0	-18.5	-14.8	-18.5	-11.1	-3.7	0.0	3.7
輸送機器	-16.7	-17.0	-15.9	-18.2	-22.7	-23.8	-23.1	-18.2	-11.4	-11.3	0.0	4.5	-9.1	-13.6
その他の製造業	-29.1	-41.7	-38.0	-38.0	-31.4	-42.0	-39.6	-40.0	-38.0	-50.0	-42.9	-37.3	-32.0	5.3
非製造業	-25.3	-22.1	-22.4	-22.0	-22.3	-22.0	-24.6	-23.7	-22.6	-23.2	-21.4	-23.6	-26.0	-2.4
卸売業	-20.7	-24.2	-32.0	-28.2	-27.5	-26.7	-24.6	-26.0	-23.5	-27.7	-26.1	-24.4	-29.3	-4.9
小売業	-36.1	-36.2	-30.3	-32.9	-31.1	-30.6	-33.1	-34.8	-34.0	-35.3	-33.1	-34.7	-37.1	-2.4
商店街	-33.1	-29.9	-28.6	-30.0	-33.1	-35.3	-37.4	-36.9	-34.8	-30.2	-23.4	-33.6	-31.7	1.9
サービス業	-13.8	0.8	-2.2	-0.3	-9.6	-7.0	-10.0	-9.4	-5.8	-8.7	-8.5	-15.5	-13.4	2.1
建設業	-24.1	-22.6	-20.7	-22.4	-16.3	-17.1	-22.5	-18.3	-19.7	-18.3	-20.0	-18.2	-24.5	-6.3
運輸業	-29.9	-28.8	-29.6	-25.2	-22.2	-22.0	-24.8	-20.0	-23.5	-20.0	-17.9	-14.7	-21.6	-6.9
その他の非製造業	3.2	3.2	-6.4	-6.4	0.0	-3.3	-13.3	-10.4	-6.9	-16.6	0.0	-6.7	-6.6	0.1

## Pick up!

「印刷」：引き続き印刷需要は低迷しており、業界全体的に厳しい状況にあるが、一部に価格の下げ止まりと、新たな印刷案件の発生による回復傾向が見られることにより、景況DIは前月比12.1ポイントの改善となった。売上高DIは8.6ポイント、収益状況DIは1.7ポイント改善し、主要3指標ともに改善となった。

「運輸」：中東情勢緊迫化の影響により燃料コストが上昇するとの懸念が広がっており、景況DIは▲6.9ポイントの低下となった。一方で、底堅い運送需要に支えられており売上高DIは3.9ポイントの改善となった。

## 2. 売上高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 15.9	▲ 12.8	3.1	上昇	↗
製造業	▲ 18.4	▲ 14.0	4.4	上昇	↗
非製造業	▲ 13.9	▲ 11.9	2.0	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	紙・紙加工品			
	5～10ポイント	繊維工業、木材・木製品、印刷、窯業・土石製品 鉄鋼・金属、一般機器、サービス業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	化学・ゴム、輸送機器			
	5～10ポイント	建設業			

表3. 業種別【売上高】DIの推移（前年同月比）

業種名	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	8/1	8/2	前月比
全体	-13.6	-10.8	-10.9	-12.5	-11.8	-12.8	-16.4	-10.7	-9.9	-15.3	-10.5	-15.9	-12.8	3.1
製造業	-20.1	-18.2	-13.5	-15.5	-17.0	-18.3	-25.3	-15.1	-14.2	-21.8	-18.2	-18.4	-14.0	4.4
食料品	-12.6	-10.0	-2.5	-6.1	-8.6	-8.1	-11.7	-9.2	-1.5	-4.5	-10.8	-15.4	-11.1	4.3
繊維工業	-20.0	-17.2	-19.8	-19.8	-26.4	-20.0	-33.3	-22.7	-29.7	-36.3	-24.8	-30.9	-25.7	5.2
木材・木製品	-32.2	-33.4	-11.6	-8.1	-25.0	-36.9	-47.4	-30.7	-26.3	-25.8	-33.1	-35.1	-28.7	6.4
紙・紙加工品	-33.3	13.7	8.4	-4.4	4.2	8.7	-33.4	13.0	-41.7	-32.0	-40.9	-30.5	-9.1	21.4
印刷	-13.5	-35.1	-29.4	-28.8	-23.7	-38.6	-43.1	-20.3	-27.6	-31.0	-32.2	-24.2	-15.6	8.6
化学・ゴム	-14.8	-7.4	-7.4	-18.5	3.7	-14.3	12.5	17.8	21.4	-3.5	14.3	17.8	0.0	-17.8
窯業・土石製品	-31.4	-32.4	-20.5	-20.0	-35.3	-20.8	-20.2	-20.4	-10.3	-27.7	-30.4	-32.8	-26.4	6.4
鉄鋼・金属	-18.7	-17.9	-20.6	-18.3	-9.3	-13.0	-30.8	-21.3	-10.7	-29.7	-15.9	-18.2	-11.5	6.7
一般機器	-23.1	-15.1	-16.2	-24.8	-24.1	-18.8	-24.5	-12.7	-29.5	-21.0	-11.5	-10.5	-4.8	5.7
電気機器	3.5	14.8	14.2	-3.6	21.4	0.0	7.7	7.4	3.7	-14.8	7.4	3.7	7.4	3.7
輸送機器	2.4	-14.6	-11.3	-6.8	-2.3	-11.9	-25.7	0.0	15.9	-4.5	11.6	22.7	9.1	-13.6
その他の製造業	-35.4	-18.8	-26.0	-28.0	-21.6	-36.0	-39.6	-24.0	-22.0	-42.0	-26.6	-13.7	-14.0	-0.3
非製造業	-8.8	-5.3	-9.0	-10.1	-8.0	-8.5	-9.6	-7.3	-6.7	-10.3	-4.6	-13.9	-11.9	2.0
卸売業	2.0	-1.5	-19.2	-12.9	-9.3	-8.4	-6.7	2.5	-2.5	-15.3	-6.4	-4.5	-6.4	-1.9
小売業	-17.0	-16.8	-11.8	-24.3	-20.1	-12.6	-22.8	-17.6	-18.7	-24.1	-21.8	-33.5	-29.7	3.8
商店街	-24.0	-18.5	-15.3	-14.4	-12.9	-26.3	-17.2	-21.0	-17.7	-18.9	5.1	-21.5	-19.8	1.7
サービス業	0.0	14.2	12.2	18.4	11.9	3.7	15.5	4.7	11.9	14.1	8.5	-2.5	6.2	8.7
建設業	-12.0	-14.4	-14.6	-19.8	-13.3	-14.9	-20.0	-13.1	-13.3	-14.0	-7.9	-13.4	-18.4	-5.0
運輸業	-6.3	-0.8	-16.8	-17.3	-6.1	7.0	-13.2	0.8	-1.5	-10.0	-0.8	-0.8	3.1	3.9
その他の非製造業	19.4	32.2	6.4	19.4	6.7	0.0	16.6	6.9	6.9	16.7	30.0	3.4	0.0	-3.4

### Pick up!

「紙・紙加工品」：販売量については伸び悩んでいるものの、製紙メーカーの価格改定に合わせて販売価格への転嫁を順次行っており、売上高DIは前月比21.4ポイントの改善となった。収益状況DIについても16.6ポイント改善し主要3指標ともに改善となった。

「化学・ゴム」：中東情勢緊迫化に伴う原油高により、原材料価格が上昇するとの懸念が広がり、売上高DIは前月比▲17.8ポイントとなった。収益状況DIも同じく▲17.8ポイント、景況DIは▲3.6ポイントとなり、主要3指標ともに低下となった。

### 3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向		
全体	▲ 27.4	▲ 26.9	0.5	上昇	↗	
製造業	▲ 29.3	▲ 27.9	1.4	上昇	↗	
非製造業	▲ 25.9	▲ 26.1	▲ 0.2	悪化	↘	
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	紙・紙加工品				
	5～10ポイント	繊維工業、木材・木製品、商店街、サービス業				
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	化学・ゴム、その他の非製造業				
	5～10ポイント	卸売業				

表4. 業種別【収益状況】DIの推移（前年同月比）

業種名	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	8/1	8/2	前月比
全体	-28.7	-25.8	-25.5	-25.0	-26.1	-25.6	-27.9	-26.7	-25.3	-26.6	-24.6	-27.4	-26.9	0.5
製造業	-31.8	-31.1	-31.1	-29.9	-30.2	-31.0	-33.0	-31.7	-28.8	-31.0	-29.3	-29.3	-27.9	1.4
食品	-38.7	-29.8	-31.5	-30.3	-32.3	-31.6	-29.4	-31.0	-27.7	-25.7	-30.4	-33.8	-29.3	4.5
繊維工業	-37.2	-36.4	-35.1	-32.4	-33.7	-30.9	-36.0	-40.0	-39.6	-43.7	-35.4	-38.1	-31.9	6.2
木材・木製品	-40.0	-43.0	-25.9	-30.6	-31.3	-37.7	-43.1	-42.1	-30.7	-30.2	-34.7	-41.3	-34.8	6.5
紙・紙加工品	-25.0	-18.2	-12.5	-17.4	0.0	-13.0	-41.7	-34.8	-37.5	-40.0	-36.4	-34.8	-18.2	16.6
印刷	-33.9	-45.6	-46.6	-39.0	-45.7	-45.6	-48.3	-33.9	-46.6	-39.7	-44.0	-41.4	-39.7	1.7
化学・ゴム	-14.8	-22.2	-18.5	-25.9	-22.2	-17.8	-20.8	-14.3	-7.2	-6.9	-10.7	7.1	-10.7	-17.6
窯業・土石製品	-30.6	-36.9	-28.8	-25.2	-34.6	-28.9	-32.3	-31.4	-24.2	-32.1	-30.4	-32.1	-33.9	-1.8
鉄鋼・金属	-28.6	-27.6	-38.9	-29.0	-27.1	-32.1	-35.4	-31.3	-28.2	-31.3	-25.0	-24.2	-24.4	-0.2
一般機器	-27.9	-23.2	-34.3	-34.2	-25.0	-26.5	-26.4	-25.2	-29.5	-32.3	-20.0	-20.0	-23.8	-3.8
電気機器	-10.7	7.4	-3.5	-17.8	-3.6	-22.2	7.7	-7.4	0.0	-22.2	-11.1	0.0	0.0	0.0
輸送機器	-9.5	-17.1	-20.5	-20.5	-25.0	-23.9	-23.1	-20.5	-9.1	-18.1	-14.0	-6.8	-6.8	0.0
その他の製造業	-33.3	-33.3	-32.0	-38.0	-37.3	-36.0	-37.7	-38.0	-38.0	-36.0	-38.8	-29.5	-34.0	-4.5
非製造業	-26.5	-21.8	-21.4	-21.4	-22.9	-21.5	-24.0	-22.9	-22.5	-23.0	-21.3	-25.9	-26.1	-0.2
卸売業	-23.3	-18.7	-25.1	-19.3	-25.2	-22.3	-20.0	-22.5	-17.5	-22.8	-23.6	-16.5	-23.8	-7.3
小売業	-36.4	-36.9	-25.2	-31.3	-33.6	-26.8	-33.1	-31.0	-36.5	-36.5	-36.9	-40.7	-40.2	0.5
商店街	-35.6	-26.8	-28.0	-31.2	-29.4	-34.0	-39.3	-34.4	-29.1	-27.0	-16.4	-37.4	-32.3	5.1
サービス業	-16.7	-5.1	-7.8	-3.7	-11.8	-10.3	-9.4	-13.0	-7.2	-7.9	-9.9	-20.5	-14.5	6.0
建設業	-24.2	-21.8	-23.3	-27.2	-22.4	-22.6	-22.9	-20.5	-24.9	-26.0	-26.1	-25.6	-28.7	-3.1
運輸業	-28.4	-27.2	-27.2	-18.1	-13.8	-16.6	-27.1	-18.4	-19.5	-19.2	-7.8	-11.0	-12.3	-1.3
その他の非製造業	3.2	6.5	-3.3	-12.9	-6.7	-10.0	0.0	-6.9	-10.4	3.3	6.6	10.0	-3.3	-12.3

#### Pick up!

「商店街」：物価上昇に一服感が見られ、消費が回復するとの期待感もあり、収益状況DIは5.1ポイントの改善となった。景況DI、売上高DIもわずかではあるが改善し、3カ月振りに主要3指標ともに改善となった。

「卸売」：各種資材価格の上昇が収益面の足かせとなっていることに加え、人手不足に基因する工期・納期の長期化による悪影響もあり、収益状況DIは前月比▲7.3ポイントとなった。価格転嫁も難航している状況であり、主要3指標ともに低下となった。

#### 4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 16.7	▲ 15.7	1.0	上昇	↗
製造業	▲ 17.5	▲ 16.4	1.1	上昇	↗
非製造業	▲ 16.2	▲ 15.2	1.0	上昇	↗
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	22.7	22.5	▲ 0.2	悪化	↘
製造業	22.5	21.5	▲ 1.0	悪化	↘
非製造業	23.0	23.2	0.2	上昇	↗
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 9.4	▲ 9.2	0.2	上昇	↗
製造業	▲ 5.5	▲ 5.2	0.3	上昇	↗
非製造業	▲ 12.5	▲ 12.3	0.2	上昇	↗
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 16.2	▲ 14.5	1.7	上昇	↗
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 12.4	▲ 12.5	▲ 0.1	悪化	↘
製造業	▲ 15.1	▲ 15.0	0.1	上昇	↗
非製造業	▲ 10.2	▲ 10.6	▲ 0.4	悪化	↘
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 6.7	▲ 7.5	▲ 0.8	悪化	↘
製造業	▲ 6.8	▲ 7.8	▲ 1.0	悪化	↘
非製造業	▲ 6.6	▲ 7.1	▲ 0.5	悪化	↘

### Calendar 2025

#### ~~ 国内外の主なトピックス (令和8年3月) ~~

3月9日(月)	毎月勤労統計調査(速報、従業員5人以上の事業所):厚生労働省 物価の変動を加味した働き手1人当たりの1月の実質賃金は、前年同月比1.4%増で13カ月ぶりにプラスに転じた。名目賃金が6カ月ぶりに3%台の高水準となったことに加え、2025年末のガソリンの暫定税率廃止などで賃上げが物価上昇を上回った。名目賃金に当たる現金給与総額は同3.0%増の30万1314円で49カ月連続の上昇となった。
3月9日(月)	国際収支統計(速報):財務省 1月の経常収支は9416億円の黒字となり、2025年2月から12カ月連続の黒字となった。前年同月に比べると1兆2862億円の収支改善となった。半導体・電子部品を中心に輸出が前年より増加し、貿易収支の赤字幅が縮小したことが要因。
3月9日(月)	景気ウォッチャー調査(街角景気):内閣府 街角の景況感を示す現状判断指数(DI)が季節調整値で48.9と前月を1.3ポイント上回り、4カ月ぶりに上昇した。大雪や厳しい寒さが緩み、人手が増えたことが主な要因。基調判断は、「景気は、持ち直している。先行きについては価格上昇の影響等を懸念しつつも、持ち直しが続くと思われる」とされた。調査の実施期間が2月25日から2月28日だったため、中東情勢の緊迫化について触れる回答は少なかった。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(令和8年2月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全 体	-27.9	-12.8	-26.9	22.5	-9.2	-15.7	-14.5	-12.5	-7.5
製 造 業	-30.3	-14.0	-27.9	21.5	-5.2	-16.4	-14.5	-15.0	-7.8
非 製 造 業	-26.0	-11.9	-26.1	23.2	-12.3	-15.2		-10.6	-7.1

( 製 造 業 )

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食 料 品	-31.8	-11.1	-29.3	38.4	-11.1	-18.7	-7.0	-14.2	-12.6
織 維 工 業	-41.6	-25.7	-31.9	15.0	-9.7	-20.3	-19.5	-15.0	-12.4
木 材・木 製 品	-39.2	-28.7	-34.8	5.2	-8.7	-15.7	-16.5	-13.1	-4.3
紙・紙加工品	-40.9	-9.1	-18.2	36.4	-18.2	-22.8	-31.9	-31.8	-9.1
印 刷	-34.5	-15.6	-39.7	24.1	-5.2	-20.7	-22.4	-20.7	-10.4
化 学・ゴ ム	-10.7	0.0	-10.7	21.4	3.5	0.0	10.8	7.2	3.6
窯業・土石製品	-36.7	-26.4	-33.9	40.4	-2.2	-15.5	-28.0	-18.4	-2.2
鉄 鋼・金 属	-25.2	-11.5	-24.4	9.9	-1.5	-14.5	-15.2	-17.5	-6.1
一 般 機 器	-20.0	-4.8	-23.8	11.4	1.9	-9.5	-7.6	-7.6	0.9
電 気 機 器	0.0	7.4	0.0	25.9	3.7	-18.5	-14.8	-18.5	-7.4
輸 送 機 器	-9.1	9.1	-6.8	4.6	-2.3	-6.8	0.0	-13.7	-9.1
その他の製造業	-32.0	-14.0	-34.0	10.0	-4.0	-30.0	-14.0	-20.0	-26.0

( 非 製 造 業 )

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸 売 業	-29.3	-6.4	-23.8	30.4	-11.9	-10.4		-7.4	-4.0
小 売 業	-37.1	-29.7	-40.2	17.9	-23.7	-21.8		-13.5	-9.6
商 店 街	-31.7	-19.8	-32.3	37.9	-18.7	-21.1		-8.1	-6.2
サ ー ビ ス 業	-13.4	6.2	-14.5	23.9	-8.7	-10.5		-5.4	
建 設 業	-24.5	-18.4	-28.7	17.2	-10.3	-15.9		-12.9	
運 輸 業	-21.6	3.1	-12.3	13.1	3.1	-10.0		-20.8	
その他の非製造業	-6.6	0.0	-3.3	33.3	6.7	-6.6		-3.4	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(令和8年 2月 末現在)

(単位:%)

項目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全体	3.6	65.0	31.5	20.2	46.8	33.0	7.4	58.3	34.3	29.3	63.9	6.8	3.1	84.6	12.3	2.7	78.9	18.4	8.2	69.1	22.7	3.1	81.2	15.6	8.7	75.1	16.2
製造業	3.7	62.3	34.0	20.0	46.1	34.0	7.4	57.3	35.3	26.8	68.0	5.3	4.1	86.6	9.3	2.7	78.2	19.1	8.2	69.1	22.7	3.0	79.0	18.0	7.4	77.4	15.2
非製造業	3.5	67.0	29.5	20.4	47.3	32.3	7.4	59.1	33.5	31.2	60.8	8.0	2.3	83.1	14.6	2.7	79.5	17.9	0.0	0.0	0.0	3.2	83.0	13.8	10.7	71.6	17.8

(製造業)

項目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食料品	2.0	64.1	33.8	19.2	50.5	30.3	8.1	54.5	37.4	41.9	54.5	3.5	1.0	86.9	12.1	2.5	76.3	21.2	7.6	77.8	14.6	2.5	80.8	16.7	5.6	76.3	18.2
繊維工業	0.9	56.6	42.5	11.5	51.3	37.2	5.3	57.5	37.2	22.1	70.8	7.1	0.9	88.5	10.6	1.8	76.1	22.1	4.4	71.7	23.9	2.7	79.6	17.7	6.2	75.2	18.6
木材・木製品	1.7	57.4	40.9	17.4	36.5	46.1	4.3	56.5	39.1	13.9	77.4	8.7	1.7	87.8	10.4	0.0	84.3	15.7	6.1	71.3	22.6	2.6	81.7	15.7	9.6	76.5	13.9
紙・紙加工品	9.1	40.9	50.0	36.4	18.2	45.5	22.7	36.4	40.9	40.9	54.5	4.5	0.0	81.8	18.2	4.5	68.2	27.3	13.6	40.9	45.5	0.0	68.2	31.8	18.2	54.5	27.3
印刷	3.4	58.6	37.9	17.2	50.0	32.8	1.7	56.9	41.4	29.3	65.5	5.2	10.3	74.1	15.5	1.7	75.9	22.4	12.1	53.4	34.5	1.7	75.9	22.4	1.7	86.2	12.1
化学・ゴム	3.6	82.1	14.3	25.0	50.0	25.0	10.7	67.9	21.4	21.4	78.6	0.0	7.1	89.3	3.6	10.7	78.6	10.7	17.9	75.0	7.1	14.3	78.6	7.1	17.9	67.9	14.3
窯業・土石製品	3.7	55.9	40.4	19.9	33.8	46.3	5.1	55.9	39.0	42.6	55.1	2.2	3.7	90.4	5.9	2.9	78.7	18.4	6.6	58.8	34.6	1.5	78.7	19.9	10.3	77.2	12.5
鉄鋼・金属	5.3	64.1	30.5	19.8	48.9	31.3	6.9	61.8	31.3	18.3	73.3	8.4	6.1	86.3	7.6	2.3	80.9	16.8	9.2	66.4	24.4	0.8	80.9	18.3	6.1	81.7	12.2
一般機器	4.8	70.5	24.8	19.0	57.1	23.8	7.6	61.0	31.4	16.2	79.0	4.8	7.6	86.7	5.7	4.8	81.0	14.3	10.5	71.4	18.1	6.7	79.0	14.3	9.5	81.9	8.6
電気機器	18.5	63.0	18.5	37.0	33.3	29.6	29.6	40.7	29.6	29.6	66.7	3.7	11.1	81.5	7.4	7.4	66.7	25.9	11.1	63.0	25.9	3.7	74.1	22.2	11.1	70.4	18.5
輸送機器	6.8	77.3	15.9	31.8	45.5	22.7	11.4	70.5	18.2	9.1	86.4	4.5	4.5	88.6	6.8	2.3	88.6	9.1	13.6	72.7	13.6	6.8	72.7	20.5	2.3	86.4	11.4
その他の製造業	2.0	64.0	34.0	14.0	58.0	28.0	6.0	54.0	40.0	16.0	78.0	6.0	6.0	84.0	10.0	2.0	66.0	32.0	2.0	82.0	16.0	2.0	76.0	22.0	2.0	70.0	28.0

(非製造業)

項目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸売業	3.5	63.7	32.8	26.9	39.8	33.3	10.0	56.2	33.8	41.3	47.8	10.9	2.5	83.1	14.4	4.0	81.6	14.4				4.0	84.6	11.4	13.9	68.2	17.9
小売業	1.9	59.1	39.0	14.4	41.5	44.1	4.5	50.8	44.7	33.2	51.4	15.3	0.3	75.7	24.0	2.2	73.8	24.0				2.2	82.1	15.7	9.9	70.6	19.5
商店街	3.7	60.9	35.4	16.8	46.6	36.6	6.8	54.0	39.1	41.6	54.7	3.7	1.2	78.9	19.9	2.5	73.9	23.6				2.5	87.0	10.6	8.1	77.6	14.3
サービス業	5.8	75.0	19.2	27.2	51.8	21.0	10.5	64.5	25.0	27.9	68.1	4.0	2.5	86.2	11.2	2.2	85.1	12.7				5.8	83.0	11.2			
建設業	2.1	71.2	26.6	14.6	52.4	33.0	2.6	66.1	31.3	23.2	70.8	6.0		87.6	10.3	1.7	80.7	17.6				2.1	82.8	15.0			
運輸業	3.8	70.8	25.4	25.4	52.3	22.3	10.8	66.2	23.1	18.5	76.2	5.4	6.2	90.8	3.1	3.8	82.3	13.8				1.5	76.2	22.3			
その他の非製造業	6.7	80.0	13.3	20.0	60.0	20.0	20.0	56.7	23.3	33.3	16.48	0.0	10.0	86.7	3.3	6.7	80.0	13.3				3.3	90.0	6.7			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

(令和 8年 2月 末現在)

〔全国〕

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	3.6	65.0	31.5	-27.9	20.2	46.8	33.0	-12.8	7.4	58.3	34.3	-26.9
製造業	3.7	62.3	34.0	-30.3	20.0	46.1	34.0	-14.0	7.4	57.3	35.3	-27.9
非製造業	3.5	67.0	29.5	-26.0	20.4	47.3	32.3	-11.9	7.4	59.1	33.5	-26.1

〔近畿地方〕

滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県,  
和歌山県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	3.2	61.3	35.5	-32.3	15.3	49.2	35.5	-20.2	5.2	56.9	37.9	-32.7
製造業	1.7	58.1	40.2	-38.5	14.5	44.4	41.0	-26.5	4.3	55.6	40.2	-35.9
非製造業	4.6	64.1	31.3	-26.7	16.0	53.4	30.5	-14.5	6.1	58.0	35.9	-29.8

〔北海道・東北地方〕

北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県,  
山形県, 福島県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	2.6	63.1	34.3	-31.7	20.7	43.0	36.2	-15.5	8.4	54.7	36.9	-28.5
製造業	1.8	57.8	40.4	-38.6	17.4	45.0	37.6	-20.2	7.3	51.4	41.3	-34.0
非製造業	3.0	66.0	31.0	-28.0	22.5	42.0	35.5	-13.0	9.0	56.5	34.5	-25.5

〔中国地方〕

鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	2.9	71.5	25.5	-22.6	25.5	44.4	30.1	-4.6	9.2	59.0	31.8	-22.6
製造業	4.4	64.6	31.0	-26.6	23.9	48.7	27.4	-3.5	11.5	55.8	32.7	-21.2
非製造業	1.6	77.8	20.6	-19.0	27.0	40.5	32.5	-5.5	7.1	61.9	31.0	-23.9

〔関東・甲信越地方〕

茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県,  
東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	4.4	68.1	27.5	-23.1	22.9	47.6	29.5	-6.6	9.1	60.6	30.3	-21.2
製造業	4.2	68.1	27.8	-23.6	25.1	47.9	27.0	-1.9	9.5	59.7	30.8	-21.3
非製造業	4.5	68.2	27.3	-22.8	21.4	47.3	31.3	-9.9	8.8	61.2	29.9	-21.1

〔四国地方〕

徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	1.2	65.1	33.7	-32.5	16.3	47.7	36.0	-19.7	5.2	59.3	35.5	-30.3
製造業	1.3	70.9	27.8	-26.5	17.7	44.3	38.0	-20.3	7.6	62.0	30.4	-22.8
非製造業	1.1	60.2	38.7	-37.6	15.1	50.5	34.4	-19.3	3.2	57.0	39.8	-36.6

〔東海・北陸地方〕

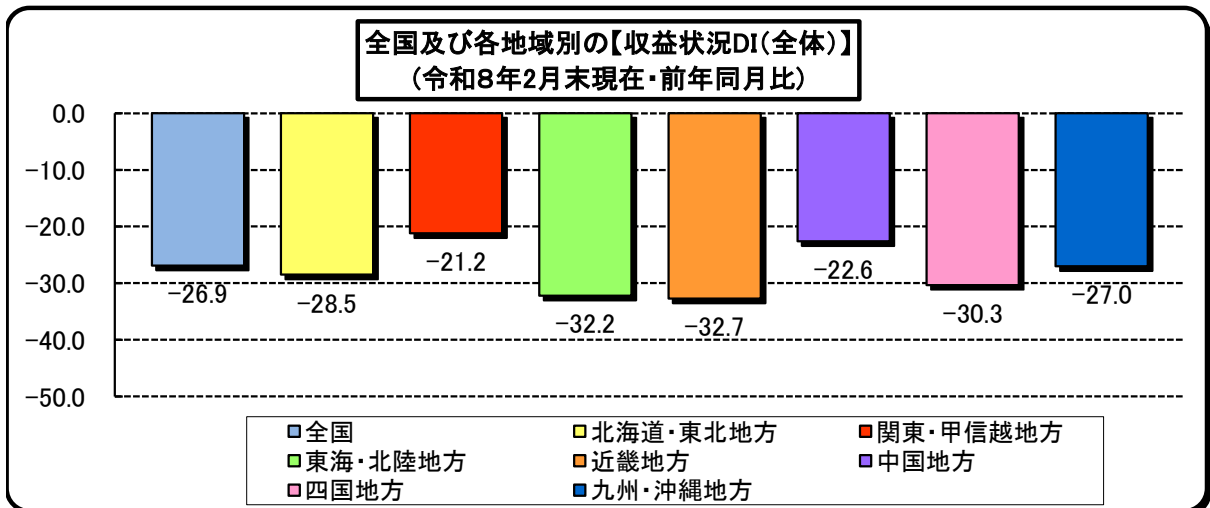
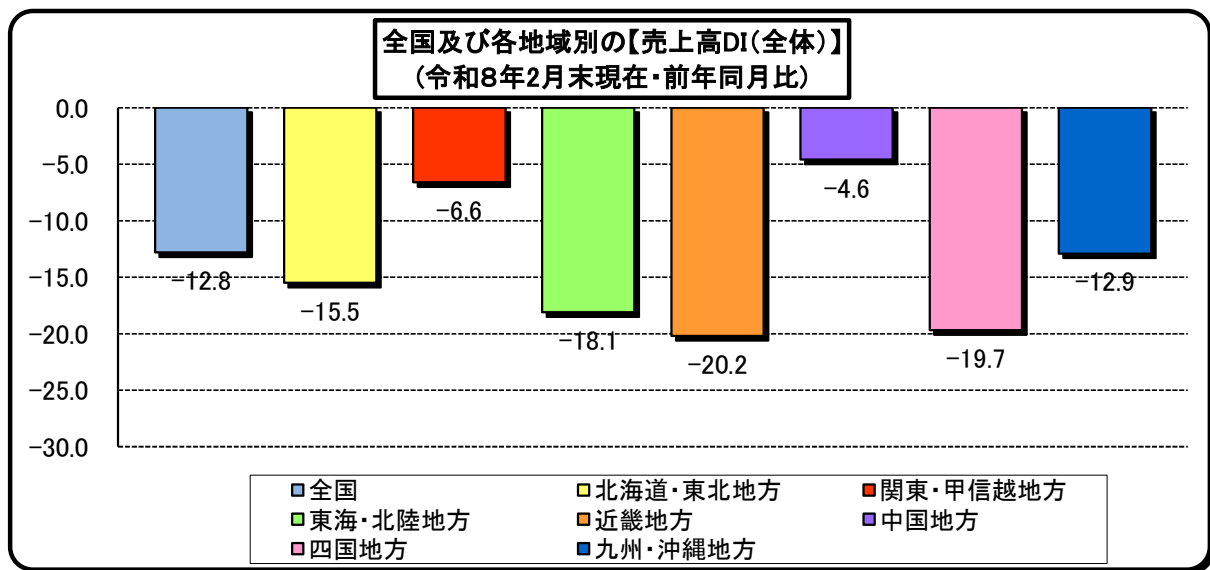
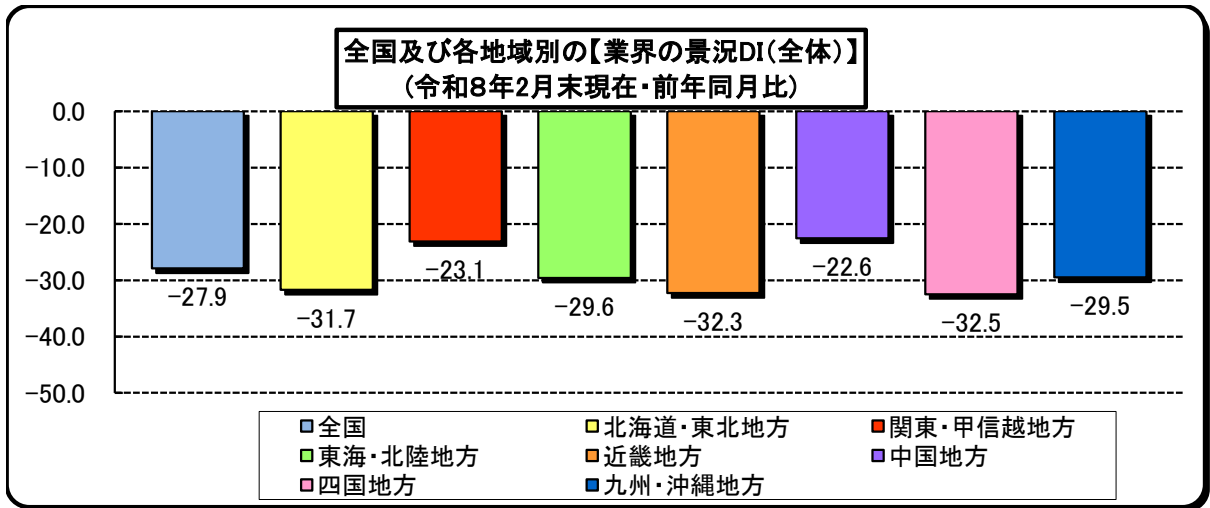
静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県,  
石川県, 福井県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	3.1	64.3	32.7	-29.6	16.1	49.7	34.2	-18.1	4.3	59.2	36.5	-32.2
製造業	4.6	58.9	36.5	-31.9	16.8	45.7	37.6	-20.8	4.6	55.8	39.6	-35.0
非製造業	1.5	69.7	28.7	-27.2	15.4	53.8	30.8	-15.4	4.1	62.6	33.3	-29.2

〔九州・沖縄地方〕

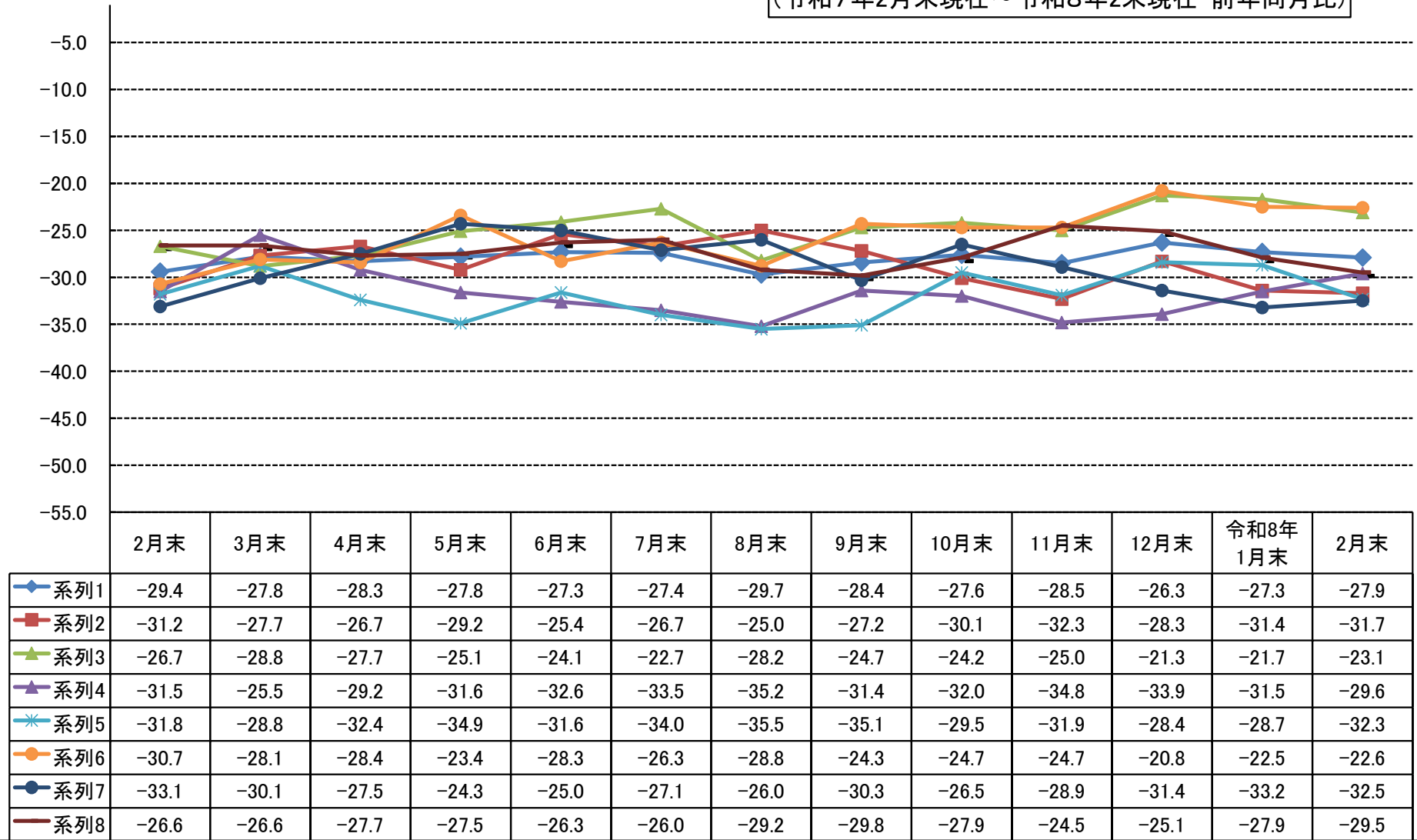
福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県,  
宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

項目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体	5.3	59.9	34.8	-29.5	21.1	44.9	34.0	-12.9	8.3	56.4	35.3	-27.0
製造業	5.4	57.0	37.6	-32.2	19.5	44.3	36.2	-16.7	6.7	59.1	34.2	-27.5
非製造業	5.3	61.8	32.9	-27.6	22.2	45.3	32.4	-10.2	9.3	54.7	36.0	-26.7



- [北海道・東北地方] 北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
- [関東・甲信越地方] 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県
- [東海・北陸地方] 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県
- [近畿地方] 滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県
- [中国地方] 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
- [四国地方] 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
- [九州・沖縄地方] 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】  
(令和7年2月末現在～令和8年2月末現在・前年同月比)



- [北海道・東北地方(系列2)] 北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
- [関東・甲信越地方(系列3)] 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県
- [東海・北陸地方(系列4)] 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県
- [近畿地方(系列5)] 滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県
- [中国地方(系列6)] 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
- [四国地方(系列7)] 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
- [九州・沖縄地方(系列8)] 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

※系列1は全国の数値です。